ことしの仕事

町の家計簿



令和2年4月

七ケ宿町

「ことしの仕事・町の家計簿」発行にあたり

国においては、「景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している」とされ、今後の見通しとしては「当面弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される」と報じられています。その一方で、留意すべき事項とし、「通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」とし、加えて新型コロナウイルス感染症の対策や、世界規模での拡大による経済の大幅な下振れなど先行き不透明な状況にあります。

本年度は「第6次長期総合計画」、「ふるさと創生総合戦略」を策定し推進していく初年度となります。これまでの事業の振り返りと評価のもと、多様化する地域課題に積極的かつ柔軟に対応し、「小さくても持続可能なまち ~豊かさと幸せを実感できる住み心地 100 点のまち~」の実現に向けたスタートとなる重要な年度となります。

「第6次長期総合計画」では、【安心づくり】、【仕事づくり】、【人づくり】、【環境づくり】、【つながりづくり】の5つの柱を横断的に捉え、慣例にとらわれない新しい視点から事業を推進していきます。

令和2年度の主な施策として、若者定住化に向けた地域担い手づくり支援住宅の建設や雇用助成事業等を継続して実施するともに、未利用材の再活用と森林再生のため木材チップ生産施設を整備します。また、南蔵王エリア遊歩道整備の準備を整え、更なる交流人口の拡大を図っていきます。

本町をとりまく環境と状況はめまぐるしく変化を続けています。令和という新しい時代に何が求められているのか、何が必要なのかを町民のみなさんと共に考え実行していくことが厳しい時代を生き抜く最短かつ唯一の道と考えています。七ケ宿町の今をしっかりと見つめ直し、出来ないことに理由を求めるのではなく、出来るための努力と創造を続け、七ケ宿町の未来をより豊かなものとなるよう進めていきます。

「ことしの仕事・町の家計簿」として町民のみなさんに令和2年度に町が取り組む仕事や財政状況をまとめました。

この家計簿は、事業を抽出していますので、事業費の合計が予算額と一致するものではありません。また、台風19号関連のような災害が起きた場合など、年度途中での町の仕事が変更になることもありますが、ご理解をお願いいたします。

町民のみなさんに町の仕事や財政に対する関心を高めていただくため、家計簿をまとめましたのでご覧ください。

令和2年4月

七ケ宿町長 小関幸ー

1

安心づくり

誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり



移住・定住

子育て環境

保健・医療

高齢者福祉

障がい者福祉

統計調査事業

153万円 担当課: ふるさと振興課

今年度の統計調査は、工業統計調査、国勢調査です。また、統計調査員確保対策事業を実施します。統計調査員は、調査対象である事業所や世帯などに、調査票の配布・回収や統計調査の趣旨や内容の説明を行うとともに、その点検・整理を行っています。

■主な経費

調查員報酬等9 9 万円統計協議会補助金5 万円

■財源は県と町の負担金です





移住定住支援センター運営事業

1,500万円 担当課: ふるさと振興課

移住定住支援センター(くらし研究所)を拠点として、豊かな自然と歴史や伝統などをPRし、七ケ宿町への移住定住を促す取り組みを行います。

地域資源を活用した交流体験事業や移住相談など通して、町の支援策を伝えます。移住を検討する都市住民などには、七ケ宿町の暮らしを体験できるお試し居住に取り組みます。

■主な経費

移住定住支援センター運営 1,500万円

■財源は町の負担金です



いきいき女性委員会

17万円 担当課: ふるさと振興課

女性ならではのアイディアを取り入れ、女性が活躍するまちづくりの実現に向け、委員会を開催します。町の事業がどのように進んでいるのか、課題となっていることは何なのか、まちづくりの話し合いを行っています。

■主な経費

いきいき女性委員会委員報酬等 17万円

■財源は町の負担金です



住み心地アピール事業

786万円 担当課: ふるさと振興課

地域担い手づくり住宅や子育て支援金制度などを始めとした、七ケ宿町の特色ある移住定住支援策や豊かな自然を体験する交流事業などを、年間を通して PR し、町の知名度アップを図ります。

また、ホームページをより見やすく、より使いやすく更新し、様々な情報を提供していきます。

■主な経費

プロモーション事業 ホームページ更新事業



定住宅地貸付譲渡事業

○ 万円 担当課:ふるさと振興課

移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、町に永住を希望する方へ町有地を貸付けし、自身が定住する住宅を建築した方に土地を無償で譲り渡します。

■主な経費

経費はかかりません



ごみ処理対策事業

2,428万円 担当課:町民税務課

町内から排出される燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ等を処理場まで収集運搬を行います。

ごみは、仙南2市7町で構成される仙南地域広域行政事務組合の仙南クリーンセンターと仙南リサイクルセンターで主に処理されます。

また、生ごみの減量を図るために生ごみ処理機の助成や集積所の環境整備を行います。

■主な経費

一般廃棄物収集運搬業務758万円ごみ集積箱整備246万円生ごみ処理機購入補助金7万円仙南地域広域行政事務組合負担金

1,417万円

■財源は町の負担金です



若者定住支援事業

1,191万円

若者の出会いから結婚につながる環境創出のための婚活支援事業及び結婚新生活応援金助成事業を行います。

担当課:町民税務課

また、町内定住を促すための通勤者応援事業、将来の地域のリーダー育成のための応援事業を行います。

■主な経費

婚活支援事業	466万円
結婚新生活応援事業	50万円
通勤者応援事業	105万円
次世代リーダー育成事業	360万円
民間賃貸住宅家賃助成事業	210万円

■財源は町の負担金です



戸籍・住民票等に関する事務

1,036万円 担当課:町民税務課

戸籍・住民票・印鑑証明などの届出、申請の受付や発行業務に要する経費です。

戸籍や住民基本台帳等はコンピュータ化しており、それに伴う経費となっています。

住民票を有する全ての人にマイナンバー(個人番号)が通知され、税、社会保障、災害関係での行政手続きでマイナンバーの利用が可能となっています。

■主な経費

戸籍システムに関する経費620万円住基システム・住基ネットシステムに関する経費333万円個人番号カードの交付に関する経費

83万円



個人番号カード

後期高齢者医療制度

5,591万円 担当課:町民税務課

平成20年4月より老人保健にかわり創設となった医療制度で、75歳以上の方・65歳以上で一定の障がいのある方が被保険者です。宮城県後期高齢者医療広域連合が主体となって運営し、町は保険料の徴収や保険証の交付などを行っています。

特定健診は町が委託を受けて行い、一人でも多くの方が受診されるよう、広報・啓発に 努めます。

■主な経費

後期高齢者医療広域連合納付金 (保険料)

2,266万円

後期高齢者医療広域連合市町村負担金

3,161万円

■財源は保険料と町の負担金です

医療費助成制度の充実

8 1 2 万円 担当課: 町民税務課

医療機関での点数にかかる診療費を助成し、 幅広い対象者への早期治療を行い福祉の増進 を図ります。

■主な経費

子ども医療費助成費480万円心身障がい者医療費助成費319万円母子・父子医療費助成費13万円

■財源は県と町の負担金です

介護保険事業

2億9,400万円 担当課:町民税務課

介護を必要とする人は増え続け、介護者の 高齢化など、家族だけで介護することは困難 となっています。

介護保険制度は、こうした介護への不安を 解消するために、介護を社会全体で支え合う 社会保険制度の1つです。

介護や支援が必要になった人が、保健・医療・福祉にわたるサービスから適切なサービスを 選択して利用することにより、住み慣れた地域で生活できることを目的として町が保険者 となり介護保険を運営しています。

介護認定者は年々増加傾向にあり、財政の負担は大きなものとなっています。

介護予防事業を活用し、健康寿命を延ばしましょう。

■主な経費

保険給付費2億6,951万円地域支援事業1,888万円その他561万円

■財源は保険料・国・県・町の負担金です

児童手当

1,275万円 担当課:町民税務課

児童手当制度は、児童を養育している家庭 の生活安定と、次世代の社会を担う児童の健 全な育成を目的としています。

支給額は、中学校修了までの児童を養育している方へ、児童1名につき10,000円または15,000円を支給します。

※児童を養育している方の所得が所得制限限度額以上の場合は、特例給付として月額一律 5.000 円を支給します。

■主な経費

児童手当 1.275万円

■財源は国と県と町の負担金です

国民健康保険事業

1億8,100万円 担当課:町民税務課

国民健康保険は、病気やケガをしたときに 安心して医療機関を受診できるように、加入 者(被保険者)がお金(保険税)を出し合い 医療費の負担を支え合う制度です。

国民健康保険は宮城県と市町村が運営を担っており、町は県と連携して安定した国保運営に努め、保険税の賦課・徴収や保険証の発行を実施します。

また、保健事業としてジェネリック医薬品の利用促進、特定健診と保健指導により、医療費適正化対策と生活習慣病予防・栄養指導の周知・促進を引き続き行います。

■主な経費

保険給付費 1億2,606万円 国民健康保険事業納付金 3,930万円

■財源は保険税と県と町の負担金です

子育て支援事業

2 4 5 万円 担当課:町民税務課・健康福祉課

子育て支援の一環として、町内在住1年未満の方に子どもが生まれたときは、*出産祝い金、として町商品券を贈呈します。

町内在住1年以上で、定住されている方に子 どもが生まれたとき、小・中・高校入学時に、"子 育て応援支援金、を支給します。

また、経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ購入費の一部として、*子育て助成金、を支給します。

■主な経費

出産祝い金2万円子育て応援支援金190万円子育て助成金53万円

■財源は町の負担金です

障がい者への自立支援サービス

2,540万円 担当課:健康福祉課

支援を必要とするすべての障がいのある人や子どもが、サービスを気軽に受けられ、地域などで安心して生活できるように福祉・医療のサービス提供をします。

■主な経費

障害福祉サービス給付事業2,161万円更生医療費助成162万円日常生活用具・補装具給付事業121万円グループホーム家賃助成96万円

■財源は国と県と町の負担金です

障がい児・者が地域で生活できるための就労支援

1,565万円 担当課:健康福祉課

働くための環境整備、就労支援体制について当事者の意見を取り入れ、一緒に取り組む体制を整備します。

また、障がい者雇用に向けたトレーニング、 福祉的就労施設の利用など、一般就労に向け た支援を行います。

■主な経費

就労支援事業 249万円 就労支援サービスに係る費用

1,316万円

大人の各種検診(健診)事業

1,089万円

病気の早期発見・早期治療および生活習慣の状態を知るきっかけとして、特定健診・胃・子宮・乳・大腸・前立腺等のがん検診や骨粗しょう症検診を実施しています。受診料金は無料です。

町の特定健診に該当しない 30 代に対しても特定健診を受ける機会を設けるとともに、社会保険の被扶養者(家族)の方についても、特定健診に係る自己負担を助成します。

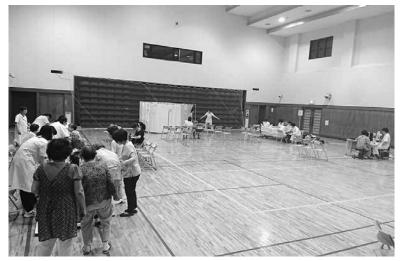
健診を受けて満足!・・・・では、もったいない。健診は、毎日の生活を見直したり、病気を早いうちに見つけるチャンスです。結果の見方や生活について相談できますので、健診事後指導会や保健センターでの相談をご活用下さい。

■主な経費

各種検診 (健診) 事業

1.089万円

■財源は県と町の負担金です



担当課:健康福祉課

担当課:健康福祉課

住民総合健診の様子

障がい児・者への地域生活支援事業

205万円

担当課:健康福祉課

障がいのある人が、地域で暮らすためのさまざまな相談や支援(地域生活支援事業・地域生活支援拠点事業)を展開します。

また、障害者手帳交付や各種サービスの利用に関する支援を行います。

日々の生活の中でもしものときに、必要な 地域生活支援拠点を整備するための話し合い を、仙南2市7町の『仙南地域障害者自立支 援協議会』で行っています。

■主な経費

相談支援事業26万円地域生活支援事業179万円

■財源は国と県と町の負担金です

保健連合会への補助

18万円

保健連合会には、保健活動推進部と食生活 改善推進部があります。健康づくりについて 学習したり、バランスの良い食習慣の普及活 動、ゴミ集積所の管理などを行っています。 この団体の活動支援として活動費の援助を行 います。

■主な経費

保健連合会補助金 10万円 保健連合会食生活改善推進部補助金 8万円



親子料理教室

大人の健康づくり事業

207万円 担当課:健康福祉課

日々の生活の乱れは、病気を招くばかりではなく、高齢期の生活の質に大きく影響します。また、医療費や介護保険の費用にも大きな影響を及ぼすことから、健診や保健指導等による生活習慣病や重症化予防を図ります。また、運動や栄養教室などを通して、町の生活習慣改善のきっかけをつくります。

■主な経費

体力に合わせた運動教室 8 9 万円 大人と子どもの 24 時間電話健康相談

116万円

栄養改善のための料理教室

2万円

■財源は県と町の負担金です

お母さんと子どもの健診事業

108万円

健やかな妊娠期を過ごすことが出来るように、妊婦健診の受診費用と受診にかかる交通費を助成します。また、乳幼児の健康診査を行うほか、成長や発達の速度が早い乳児を対象にした健康診査の助成を行います。産後のお母さんが心身のケアを受けられる産後ケア入院事業に対する助成を行います。

扣 当課: 健康福祉課

■主な経費

妊婦健康診査	49万円
乳幼児健康診査	3 9 万円
妊婦健診交通費給付	14万円
妊婦歯科健康診査	2万円
産後ケア入院事業助成	4万円

■財源は町の負担金です



幼児健診(歯科健診)の様子

子どもと高齢者の予防接種事業

394万円 担当課:健康福祉課

感染すると他の人にうつしやすく、重くなりやすい病気を対象に、予防接種費用を助成します。子どもの定期予防接種は無料です。子どもの任意予防接種と65歳以上の高齢者の予防接種についても、接種費用の全額または一部を助成します。

■主な経費

各種予防接種費用345万円接種費用助成49万円

■財源は町の負担金です



妊娠出産応援プレゼント事業

10万円 担当課:健康福祉課

「七ケ宿での子育てを一緒に楽しもう!」という想いから始まった事業です。子育て経験者の実体験をもとに〝もらって嬉しい七ケ宿オリジナルの子育て用品〟を、妊娠したとき・出産してからプレゼントします。子育てをするお母さんたちと、あかちゃんを囲みながら楽しくお話できる時間です。また、七ケ宿での子育てを応援したい「すくすく見守り隊」も、子育てを楽しめるように楽しく活動しています。

■主な経費

ポッチョンオリジナル母子手帳ケース

3万円

お母さん特製ポッチョンボックス 3万円 出産プレゼント 4万円

障がい児・者が地域で十分なサービスを受けるための体制整備支援

167万円

担当課:健康福祉課

今年度については、通いの場としてサロン の開催や障がい福祉計画の見直しを行い、サー ビス量の目標を見直しを中心に事業を行いま す。

地域生活支援拠点の運営など必要なサービ スの検討や障がいによる差別をなくすための 取り組みを行うために仙南地域自立支援協議 会(仙南2市7町で構成)を設置しています。

■主な経費

地域移行・地域定着支援の給付 12万円 利用計画相談支援の給付 36万円 障がい者団体及び障がい者支援団体への支 援 2万円

障がい者地域生活支援センターの運営

95万円

■財源は国と県と町の負担金です

みんなで介護予防

93万円 担当課:町民税務課・健康福祉課

社会福祉協議会が中心となり、参加者がリ フレッシュできる事業や趣味の講座、手芸教 室、臨床美術などのイベントをとおして、い つまでも元気で暮らせるようお手伝いします。 まちだよりやチラシでお知らせしますので、 みなさまの参加をお待ちしています。

■主な経費

地域支援事業(介護予防事業) 93万円

■財源は保険料・国・県・町の負担金です



音楽療法の様子

担 当課:健康福祉課

お年寄りの暮らしを応援する事業

1.764两

【地域包括支援センター】

地域における介護相談の最初の窓口です。

高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、必要な介護サービスや日常生活支援な どの様々な相談を受けています。

【居宅介護支援センター】

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー(介 護支援専門員)が心身の状況や生活環境、本人や家族の希望等にそってケアプランを作成したり、 さまざまな介護サービスの連絡・調整などを行います。

【高齢者生活福祉センターの管理委託】

高齢者生活福祉センターの管理運営を、七ヶ宿町社会福祉協議会に委託しています。

- ・デイサービス部門
- ・居住部門の管理
- ・配食サービス

■主な経費

介護サービス事業 1,764万円

■財源は介護サービス計画書作成収入と町の負担金です

2

仕事づくり

地域資源を活かした産業が活発なまちづくり



農林水産業

商工業

観光・交流

地域おこし協力隊

3,587万円 担当課: ふるさと振興課

人口減少や少子高齢化が進むなか、都市部 の意欲ある人材を積極的に受け入れ、新たな 視点や発想により地域の維持・活性化を推進 し、安心して生活できる地域をつくることを 目的として、地域おこし協力隊を導入しています。

地域おこし協力隊員として最長3年間委嘱 し、様々な活動に取り組みながら、七ケ宿町 への定住・定着を図っていきます。

○協力隊員の主な活動

ふるさと体験交流館運営活動 賑わいづくり活動 芸術の里づくり活動 地域での起業を目指す活動

■主な経費

隊員業務委託料3,153万円隊員用車両リース料193万円

■財源は国と町の負担金です

小規模事業者育成指導事業

750万円 担当課: ふるさと振興課

商工業の振興と地域経済の安定を目指し、 指導的役割を担う七ケ宿町商工会が行う経営 の改善に関する相談とその指導や地域内経済 振興を図るための諸活動に対して事業費の一 部を補助します。

■財源は町の負担金です

産業活性化助成事業

400万円 担当課: ふるさと振興課

新たな産業の創出や規模拡大、特産品等の 開発や既存産品の販売促進、担い手の育成を 実施するものに対して助成します。

■財源は町の負担金です

地域担い手づくり事業

2,000万円 担当課: ふるさと振興課

シャープ七ケ宿太陽光発電所の稼働に伴い、 事業者から納付される協力金を農林業や担い 手の育成等の支援に役立てます。

■主な経費

鳥獣被害対策事業 堆肥の有効活用と有機栽培促進事業 農林業生産者育成事業 賑わいと交流促進事業 次世代リーダー定住育成助成金支給事業 鹿児島県宇検村友好都市間交流事業

■財源は協力金と町の負担金です



中小企業振興資金融資事業

2,140万円 担当課: ふるさと振興課

中小企業の育成と経営の合理化を促進するため、金融機関から運転資金や設備資金を低利で融資しています。また、融資を受けるときに必要な、保証料と借入れ利子分の補助をします。

○中小企業振興資金

上限額:2,000万円

返済期限:運転資金7年以内

設備資金 10 年以内

■財源は町の負担金です

観光施設整備等資金融資事業

1,000万円 担当課:ふるさと振興課

観光業の育成と振興を図るため、金融機関から運転資金や設備資金を低利で融資しています。また、借入れ利子分の補助をします。

○観光施設設備等資金

上限額:1,000万円

返済期間:運転資金7年以內

設備資金 15 年以内

観光施設等の管理運営

5,459万円 担当課: ふるさと振興課

観光施設等を適切に維持するため、指定管理者制度によって管理運営を行います。

■主な経費

賑わい拠点施設2,100万円道の駅七ケ宿99万円ふるさと体験交流館1,900万円南蔵王やまびこの森キャンプ場

260万円

■財源は町の負担金です



七ケ宿物産ブランド事業

188万円 担当課: ふるさと振興課

優れた町産品を七ケ宿ブランドとして認定し、積極的な情報発信と販売促進を支援して、商品の付加価値向上による地域経済の活性化を推進します。

■財源は町の負担金です



観光施設整備事業

5 4 7 万円

担当課:ふるさと振興課

観光施設の整備及び修繕などを行い、観光で来町した方々が、安全に気持ちよく利用でき、また来てみたいと思うような観光地づくりを行います。

また、南蔵王やまびこの森キャンプ場がオープンし、南蔵王の美しい自然を広く発信するとともに、町の交流人口の拡大につなげていきます。

■主な経費

観光施設修繕100万円観光施設清掃等業務133万円観光施設整備事業314万円

■財源は県と町の負担金です



七ケ宿町観光協会運営費

700万円

担当課:ふるさと振興課

観光事業の振興を図り、地域の文化、産業の発展のために事業費の一部を補助します。「わらじで歩こう七ケ宿」、「七ケ宿湖一周ウォーキング」等の各種イベントや観光宣伝、特産品販売等の経費にあてられます。



七ケ宿スキー場等管理運営・整備事業

2,232万円 担当課: ふるさと振興課

スキー客やキャンプ場、コテージの利用者が、より安心・安全に利用できる施設を維持するため、指定管理者が管理運営を行うとともに、一部老朽化が進む施設や備品等の整備を行います。

■主な経費

管理委託料1,100万円リフト修繕事業1,132万円

■財源は町の負担金です



良質米生産推進事業

100万円

販路拡大やお米の単価向上を図るため土壌 分析により良質米が生産されるほ場へと土壌 改良を行い、七ヶ宿産のお米を美味しくする 取り組みを行います。

併せて、堆肥の有効活用を図ることにより、 化学肥料の使用を控えることで安心安全なお 米の生産へと繋がる仕組みを目指します。

■主な経費

業務委託料

100万円

担 当課:農林建設課

担当課:農林建設課

■財源は県と町の負担金です



黄金色に輝く穂刈り間近のほ場

日本型直接支払交付金事業(中山間直接支払、多面的機能直接支払)

2,193万円

今年度から「中山間直接支払交付金事業」、「多面的機能支払交付金事業」は新しい計画で実施されます。

農業生産活動に引き続き取り組み、農地を守り荒廃農地を無くし、農道の補修や水路の維持 管理、農村景観の維持保全を進めていきます。

○中山間地域等直接支払交付金

·交付対象農地:172.1ha

·交付金単価:緩傾斜8,000円/10a

急傾斜21,000円/10a

・活動内容:耕作放棄地の発生防止、機械

の共同利用、鳥獣害対策等

○多面的機能直接支払

· 交付対象農地: 187.1 h a

・交付金単価:10a当たり3,000円(田)

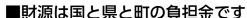
・活動内容:水路の泥上げ、農道、水路の

維持管理等

■主な経費

交付金(各5地区集落協定へ)

2.193万円





水路の維持管理作業

農地中間管理機構関連農地整備事業(県営七ケ宿東部地区・西部地区)

3.087万円

生産性の向上や用水の安定供給、維持管理 の軽減を図ることにより、農業経営の安定化 を推進することを目的として、農地整備事業 を実施します。

○令和2年度の事業内容

- ・関地区の八合分区は区画整備工事
- ・換地業務
- ・外の分区は詳細設計及び換地業務を実施 します。

■事業全体の内容

ほ場整備 6分区 45.1ha (沼ノ内、萩崎、 八合、原道上、田堀、追分川根)

■主な経費

業務委託料、負担金 3,087万円

■財源は国・県と町の負担金です



担当課:農林建設課

八合分区の現況



八合分区の整備計画図

農林業生產者育成補助事業

6 2 2 万円

担当課:農林建設課

平成27年度より園芸作物の振興のため引 き続き農業普及指導員の栽培指導研修会は継 続して実施していきます。

そのほか、農林業生産者育成補助金で町民 や新規就農者・認定農業者のそれぞれに対し、 各事業の条件にあった補助金を助成します。

○農林業生産者育成補助金

新規・事業拡大型 園芸特産振興型

■主な経費

農林業生產者育成補助金 600万円 農業普及指導事業

22万円

■財源は町の負担金です

「雪室」全国発信プロジェクト

25万円

県内唯一の雪室を活用し、雪室仕込み農産 物の販売促進を図るため、PR 事業を実施しま す。夏に雪室イベントを開催するほか、町内 外のイベントに出店し全国に「雪室」農産物 を全国に発信していきます。

■主な経費

雪室イベント開催・出展

25万円

■財源は県と町の負担金です

農業次世代人材投資事業

300万円 担当課:農林建設課

担当課:農林建設課

新規で農業を始める方に対し、農業を始め てから経営が安定するまでの最長5年間、交 付金を支給し就農意欲の喚起と就農後の定着 を図ります。

■主な経費

交付金

300万円

■財源は国の補助金です

有害鳥獣対策関係事業

6,212万円

近年、増加傾向にある有害鳥獣による農作物等の被害を守るために事業を実施します。

- ・効果的なイノシシ、ニホンザルによる被害対策を実施します。
- ・町内全域を対象に追い払い活動を実施します。
- ・個人が設置する電気柵購入や狩猟免許を取得する方、わなや猟銃の購入された方に補助金を 交付します。
- ・ワイヤーメッシュと電気柵の複合柵の設置を推進します。

対象鳥獣:ニホンザル・イノシシ・ツキノワグマ・ハクビシン等獣類

カラス・カルガモ等鳥獣

■主な経費

南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会

1,218万円

電気柵、わな等に対する補助金 358万円

地区別追い払い事業 91万円

有害鳥獸対策事業 245万円

複合柵購入事業 4,300万円

■財源は国と町の負担金です



担当課:農林建設課

担当課:農林建設課

大型捕獲艦の設置状況

林業振興関係事業

2億502万円

森林整備計画及び森林経営計画に則り、適切な森林整備の実施と森林の公益的・多面的な機能の発揮を図るための森林整備を実施します。

町内林業の振興に資するため木材チップ生産施設を整備します。

■主な経費

町有林保育事業 1,732万円 森林病害虫防除事業 75万円 森林・林業活性化業務関係 660万円 林道維持管理事業 178万円 木材チップ加工・貯木場整備事業

1億5.694万円

木質バイオマス施設・入浴移設指定管理関係

1,800万円

森林経営意向調査業務 363万円

■財源は国と県と町の負担金です



道ばた林業の作業状況

人づくり

子どもから大人まで心と身体を豊かに育むまちづくり



学校教育

生涯学習

スポーツ・レクリエーション

関保育所の運営

6,152万円 担当課:教育委員会

集団生活の中で、子どもたちの社会性、協調性、創造性などをはぐくみ、基本的な諸能力を伸ばし、心身ともに健康な成長を達成できるように調和のとれた保育に努めています。

平成 28 年度から保育料を完全無料化し、 子育て世代の負担軽減や移住定住の促進を図 ります。

■主な経費

人件費	4,373万円
園児健診費用	2 1 万円
施設の管理運営費	464万円
給食関連経費	3 1 4 万円
備品購入	120万円
保育料無料化相当額	8 4 4 万円

■財源は町の負担金です

放課後児童クラブ

462万円 担当課: 教育委員会

放課後と長期休業中に運営し、共働きのご家庭など日中お留守の家庭教育をお手伝いします。子育て環境の充実と子ども同士のコミュニケーション能力などを向上させ、児童の健全な育成を図ります。

■主な経費

消耗品等	5万円
委託料	455万円
保険料	2万円

■財源は国と県と町の負担金です



寺子屋と土曜学習会

79万円 担当課:教育委員会

【寺子屋】

児童の学習や福祉体験など、夏季休業期間 に勉強会等を開催します。

【土曜学習会】

中学生を対象に、7月から12月の毎週土曜日に学習会を開催します。塾講師による生徒の学力にあわせた個別指導を行い、受講料は無料としています。

第1志望校合格率100%を目指します。

■主な経費

塾講師派遣委託料

79万円

■財源は町の負担金です



寺子屋:ブドウ狩り体験

学校支援員事業

261万円 担当課: 教育委員会

小学校の児童へのきめ細やかな教育支援を 実施するため支援員を配置します。

■主な取り組み

・複式学級での教育支援等

■主な経費

学校支援員配置事業

261万円



国際化社会適応の推進

5 4 8 万円

担当課:教育委員会

【外国語指導助手配置】

小中学校の児童生徒への生きた外国語指導のため、外国語指導助手(ALT)を配置し、学校教育に加え、社会教育とも連携した国際交流を進めます。

■主な取り組み

・保育所、小学校、中学校における外国語 指導

【小学校外国語教育導入事業】

小学校1年生より外国語教育を導入します。 小学校生活6年間の中で英会話を中心とした コミュニケーション能力の向上と、グローバ ルな視点から物事を考えられる児童の育成に 努めます。

■主な取り組み

・小学校各学年に応じた外国語教育

■主な経費

報償・委託料517万円社会保険料20万円自治体国際化協会負担金11万円

■財源は町の負担金です

鹿児島県宇検村児童との交流事業

280万円 担当課: 教育委員会

児童が奄美地方の自然や歴史を体験することで視野を広げます。また、宇検村児童と交流することで仲間づくりや協調性を養います。

夏…七ケ宿小学校6年生が宇検村を訪れ、 大島紬ドロ染めやカヤック等を体験し ます。

冬…宇検村の小学校6年生が来町し、スキー やそば打ちを体験し、七ケ宿町のジュ ニアリーダーとも交流します。

■主な経費

事業に対する補助 280万円

■財源は町の負担金です



自慢の学校づくり推進事業

288万円

七ケ宿町の特色や課題に対応した教育活動を行うことで、児童生徒の生きる力と教員の 指導力を向上させ、児童生徒及び町民全員が 誇れる学校づくりを目指します。

扣当課:教育委員会

■主な取り組み

- ・米・野菜作り
- · 校外学習活動
- ・伝統、文化の継承
- ・クロスカントリースキー授業
- ・チャレンジ学習事業
- ・部活動等における大会出場

■主な経費

七ケ宿小学校168万円七ケ宿中学校120万円

■財源は町の負担金です

スクールバス運行事業

2,196万円 担当課:教育委員会

児童生徒の通学時の安全や移動手段を確保 するため、スクールバスを運行します。

また、部活動の移動における保護者負担の 軽減を図ります。

町営バスと相互運行を行い、効率の良い運 行に努めます。

■主な経費

運転業務委託料630万円自賠責保険料等諸経費34万円車検等整備、修繕費243万円スクールバス更新1,020万円その他燃料費、消耗品269万円

町民体育大会の開催

50万円

担当課:教育委員会

町民が体力の増進を図るきっかけとして第50回町民体育大会を開催します。

保育所や小中学校、高校生も参加し、町民の世代間交流を進め、明るく元気な大会を目指します。

地区対抗種目も用意し、楽しくも熱い戦い が繰り広げられますので、みなさんの参加を お待ちしています。

開催日 令和2年9月27日(日)会 場 町民グランド

■主な経費

開催経費

50万円

■財源は町の負担金です



スポーツ活動の普及

70万円 担当課:教育委員会

町民のみなさんにスポーツへの関心や理解を深めてもらうため、スポーツ推進委員と社会体育推進員に行事の企画立案や検討など、スポーツの普及と楽しさを伝える役割を担ってもらっています。

また、多くの人が運動の機会を得られるように宮城へルシーふるさとスポーツ祭七ケ宿町大会を開催し、町民のスポーツを通した親睦を深めます。

■主な経費

スポーツ推進委員報酬30万円社会体育推進員報償24万円その他活動旅費、保険料6万円ヘルシー大会10万円

■財源は町の負担金です

町体育協会への補助

90万円

体育協会には各種スポーツ組織の7団体が加盟しています。スポーツの普及と競技力の向上を図り、元気で明るい町をつくるため、加盟団体の活動支援として活動費を援助します。

■主な取り組み

- ・加盟団体の活動支援及び活動援助
- ・グラウンド・ゴルフ大会の開催

■主な経費

補助金

90万円

担当課:教育委員会

■財源は町の負担金です



七ケ宿町長杯 グラウンド・ゴルフ大会

体育施設の維持管理

470万円

担当課:教育委員会

町民グランドには、野球場、陸上トラック、 テニスコートが配置されています。スポーツ やイベントなど多目的に利用されています。 また、夜間照明もあってナイターでの利用も できます。

町民プールは安全で快適に使用できるよう に維持管理を行います。6月下旬から学校の 利用と夏期休業中の一般開放も行います。

■主な経費

町民プール監視員報酬 5 9 万円 体育施設消耗品、光熱水費 3 4 2 万円

環境整備等委託料 69万円

学校給食の提供

3,250万円 担当課:教育委員会

町学校給食共同調理場では町内小中学校の 児童生徒へ、地元食材を利用した安全な給食 を提供しています。効率の良い運営を目指し て、調理や配送、施設点検などの業務を民間 に委託しています。

給食費は保護者負担金を無償化し、子育て 支援の促進を図ります。

■主な経費

食材購入費等1,015万円業務委託料1,414万円管理運営経費821万円給食費無料化相当額395万円

■財源は給食費と町の負担金です

生涯学習推進体制の整備

2,721万円 担当課:教育委員会

子どもから高齢者まで、様々な興味・関心に幅広く対応するため、だれもが心豊かに学習できる環境の整備を心がけております。各地区の分館の整備や地域の特性を踏まえた生涯学習体制に努めます。

■主な経費

社会教育団体への補助39万円図書の新書購入105万円地区分館の改修工事等182万円活性化センターアリーナ照明器具等修繕

173万円

開発センター屋上防水補修等工事

1.144万円

社会教育施設の維持費 1,078万円

■財源は施設使用料と町の負担金です

青少年教育事業の推進

70万円 担当課:教育委員会

子ども達の豊かな体験活動は、自ら学び、 自ら考える力を培い、さらに挑戦する勇気を 養います。また自然とのふれあいの中で、生 きる力の基盤形成に大きく影響すると考えら れます。体験活動の充実は青少年の健全な育 成を進める上で重要な取り組みのひとつであ り、将来の七ケ宿町を担うリーダーを育成す る重要な事業です。

■主な取り組み

- ・子ども会活動の支援
- ・親子体験教室
- ・町の歴史探訪
- ・ジュニアリーダー初級研修
- ・成人講座

■主な経費

講師謝礼48万円消耗品等17万円使用料5万円

■財源は町の負担金です

豊齢者大学とノーポッチ運動

5 4 万円 担当課: 教育委員会

高齢者の孤立対策と生きがいづくりを目的 とし、お互いの親睦を深めるとともに、生涯 にわたって学習できる機会の提供に努めます。

■主な取り組み

- 各種講座の開催
- ・各種クラブ活動及び研修
- ・高齢者世帯へのお手紙運動

■主な経費

豊齢者大学クラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラークラー</l



芸術文化活動の振興

87万円

町内で活動している芸術文化活動の成果を披露する機会を提供し、団体の活性化並びに仲間作りを図り、ふるさと祭り等を開催します。また、県や関係機関が提供する芸術プログラムを採用し、優れた芸術文化に親しむ機会を設けます。

■主な取り組み

- •巡回小劇場
- ・七ケ宿町学校音楽祭
- ・人形劇を楽しむ会
- ふるさと祭り

■主な経費

公演委託料37万円ふるさと祭り補助金50万円

■財源は県と町の負担金です



担当課:教育委員会



文化財の保護活用

163万円 担当課:教育委員会

歴史と文化に親しむ機会をつくり、貴重な 町の財産を守ります。

■主な取り組み

- ・指定・未指定文化財の保護と活用
- ・埋蔵文化財の(遺跡)保護、管理

■主な経費

 文化財保護委員報酬、消耗品等
 19万円

 文化財整備保存
 84万円

 文化財調査報告書作成
 60万円

■財源は県と町の負担金です



水と歴史の館の運営

871万円 担当課: 教育委員会

町の歴史文化の発信基地としての役割を果たすため、文化財や水とダムに関する資料を収集、保管、活用し、後世に伝える企画展や歴史学講座などを開催し、来町者に親しまれる施設をめざします。

■主な取り組み

- ・常設展示及び特別展示
- ・企画展
- ・歴史学講座

■主な経費

管理運営費企画展・特別展等江戸時代料理サンプル作成等45万円43万円

■財源は入館料と町の負担金です

環境づく

豊かな環境のもと快適に生活できるまちづくり



交通安全

防災・防犯

環境保全

循環型社会

防災体制の充実

6,457万円

火災や地震等の自然災害、救急体制に万全の体制で備えるため、消防団員への報酬と仙南地域広域行政事務組合に負担金を支出します。

老朽化した消防ホース格納箱更新や消火栓の修繕を行い、団員の装備充実を図ります。

東日本大震災以降、令和元年東日本台風等の大雨による土砂災害など自然災害が多く発生していることから、町民の安心・安全を確保し、防災機能の強化を図ることを目的に、自治会単

位で行う自主防災活動事業に対し、補助金を交付します。

また、万が一の災害に備え、備蓄品を購入します。

■主な経費

消防団員報酬等 613万円 仙南地域広域行政事務組合負担金 4,077万円 消防ホース格納箱更新・消火栓修繕(塗装含む)

134万円

小型動力ポンプ普通積載車ポンプ架台更新 64万円

消防団幹部法被更新 74万円

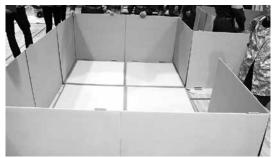
防災無線保守点検業務 223万円

自主防災組織補助金・除排雪助成金 82万円

■財源は県と町の負担金です



担当課:総務課



防犯体制の強化

町の防犯対策の向上を図るため、七ケ宿町 防犯協会に補助金を交付します。

また、夜間の事故や犯罪を未然防止するための対策として、防犯灯の適切な設置を行うとともに、維持管理を行います。

■主な経費

防犯灯の電気料・修繕料109万円防犯灯の維持管理費24万円七ケ宿町防犯協会補助金4万円

■財源は町の負担金です

町営バス運行事業

5,150万円 担当課: ふるさと振興課

町民のみなさんの通学や通院など生活の足として町営バスの運行を行います。

関から干蒲を結ぶ七ケ宿街道線、関から長老を結ぶ七ケ宿長老線、関から白石蔵王駅を結ぶ七ケ宿白石線の3路線と、なないろひろばを中心としたじゅんかん線の運行を行います。

また、毎週水曜日、七ケ宿町役場と公立高 畠病院を結ぶ乗合タクシーを運行し、利便性 の向上を図っていきます。

■主な経費

運転管理委託料3,615万円燃料費615万円車両等修繕料486万円

■財源は使用料と県と町の負担金です



七ケ宿ダム自然休養公園管理事業

2,070万円 担当課: ふるさと振興課

町内外の多くの方が利用する七ケ宿ダム自然休養公園の管理を行います。

パークゴルフ場やグラウンド・ゴルフ場、 運動広場の除草や、施設全体の安全確保を図り、水源の町のシンボルであるダム公園の環境保持を行い、にぎわいを創出します。

また、遊具や花壇等の環境整備を行い、家族連れにも楽しめる公園を目指します。

■主な経費

公園施設管理委託料500万円公園環境整備委託料100万円遊具等施設整備工事600万円

■財源は使用料と県と町の負担金です



水源地保全事業

14万円 担当課:町民税務課

宮城県民 183 万人のみずがめである七ケ宿 ダムを抱える町として、水源地を守る不法投 棄防止の対策として、不法投棄対策監視連絡 員が不法投棄されやすい地域等の定期的な巡 回パトロールを行います。

また、七ケ宿町廃棄物等不法投棄防止対策 連絡会議を中心に関係機関と協力して不法投 棄防止対策、不法投棄物の回収を行います。

■主な経費

不法投棄監視委託料

14万円

■財源は町の負担金です



不法投棄抑止のため監視カメラを活用しています

交通安全の推進

131万円

担当課:ふるさと振興課

交通安全意識の高揚のため、町民総ぐるみ 運動や街頭指導キャンペーンを行うとともに、 安全運転者講習会等を実施し、交通安全の推 進を図ります。

また、高齢者安全運転支援装置設置費に対して補助し、高齢者の運転による自動車事故 防止を図ります。

■主な経費

白石地区交通安全協会七ケ宿支部補助金

95万円

七ケ宿町交通安全母の会連合会補助金

5万円

高齢者安全運転支援装置取付補助事業

15万円

■財源は県と町の負担金です



町道等の維持管理・除排雪

8.144万円

扣当課:農林建設課

○道路・橋梁等の維持管理

人や物の移動が安全で円滑に行われるよう 道路機能の維持に努めます。

○除雪・排雪

生活路線、バス路線が雪の影響を受けず安全に通行できるよう除雪作業を行います。

また、公共施設等においては状況に応じて 排雪を行います。

■主な経費

町道・橋梁等の維持管理2,105万円除排雪2,657万円

道路維持、除雪重機購入 3.383万円

町営住宅の整備・管理と住宅環境の向上

9,511万円

○町営住宅建設事業

・地域担い手づくり支援住宅の建築

町外からの子育て世帯の定住を進めるため、今年度で合計 12 棟になります。

・町営住宅建替事業

老朽化した瀬見原の町営住宅取り壊し、1棟新築します。

○住宅環境の向上

・街なみ景観整備事業

かやぶき屋根の改修、太陽光パネルやエコキュートなどの省エネ設備、バリアフリーなど の改修費用の一部を助成します。

・住みたい住宅応援事業

新築住宅や二世帯住宅へのリフォーム、空き屋解体や空き屋の家財処分に要した費用の一

部を助成します。

■主な経費

町営住宅整備事業等

6,643万円

街なみ景観整備事業

300万円

住みたい住宅応援事業

600万円

新築住宅助成

空き家解体等助成

耐震改修(危険施設除去等)工事助成事業

73万円

耐震診断調査助成事業

14万円

■財源は国と使用料と町の負担金です

簡易水道管理事業

3,576万円 担当課:農林建設課

○安心・安全・安定供給する水道

安心・安全な飲料水を安定供給し、施設の 適正な管理と水質検査や放射性物質検査を行い、おいしい水道水を供給できるよう努めます。

○水道を安定供給のための工事

平成 28 年度に策定した簡易水道事業基本計画に基づき、各地区ごとに優先順位を付けて管路や施設の更新を行います。

■主な経費

湯原浄水場電気計装設備改修工事

干蒲地区メーター交換業務

施設等維持管理業務(施設・電気・管路)

905万円

施設維持修繕費 150万円

水質検査費用 640万円

■財源は国と町の負担金です



担当課:農林建設課

下水道施設管理事業

5.638万円 担当課:農林建設課

○水源を守る下水道

施設の長寿命化を図るため、平成 29 年度 よりストックマネジメント計画を策定し、事 業を実施しています。老朽化した機械・設備 を計画的に改修・修繕を実施することにより、 維持経費を抑えるのが目的です。今後も、施 設の計画的な維持管理を行うため、点検調査 を実施します。また、水質管理にも注意をは らい、ダム上流の町としての使命を果たしま す。

■主な経費

ストックマネジメント計画事業

3,944万円

施設維持管理委託業務 1.694万円

5

つながりづくり

地域みんなで支え合うまちづくり



地域コミュニティ・協働 行財政運営

元気な地域づくり事業

450万円

各地区の地域づくり委員会が主体となり、地域の課題解決や交流促進、空き家利活用を図る取り組みなどの地域づくり事業に交付します。自主的な住民の話し合いで地域づくり計画に基づく事業に取り組み、安心して生活できる地域を目指します。

■財源は町の負担金です







広報しちかしゅくの発行

263万円 担当課: ふるさと振興課

分かりやすく見やすい広報紙づくりをモットーに、様々な活動を通して頑張っているみなさまの様子を紹介します。広報紙を通し、町民と行政の橋渡しとなるよう情報を提供していきます。

○発行部数 毎月850部

■主な経費

広報紙の印刷

263万円

■財源は町の負担金です



宇検村友好都市交流事業

148万円

担当課:ふるさと振興課

担当課:ふるさと振興課

鹿児島県宇検村と友好都市提携協定が結ばれ、交流事業が行われています。相互に物産販売事業などの交流を図っていきます。



6

財政状況



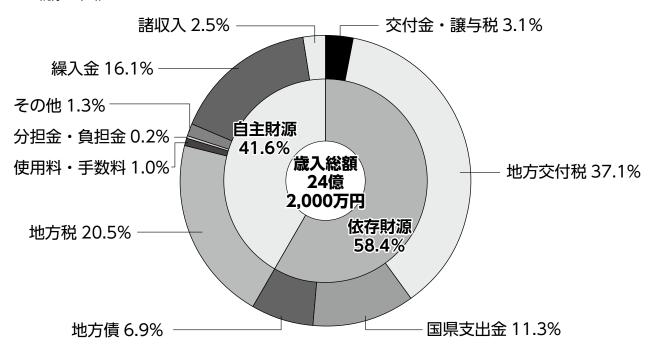
令和2年度 当初予算のあらまし

令和2年度の一般会計の総額は、24億2千万円となり、前年度と比較し3千万円の減額となっています。

歳入では、町税(576万円)、県支出金(8,513万円)が減少し、地方譲与税(711万円)、 国庫支出金(5,369万円)、財産収入(68万円)が増加しています。

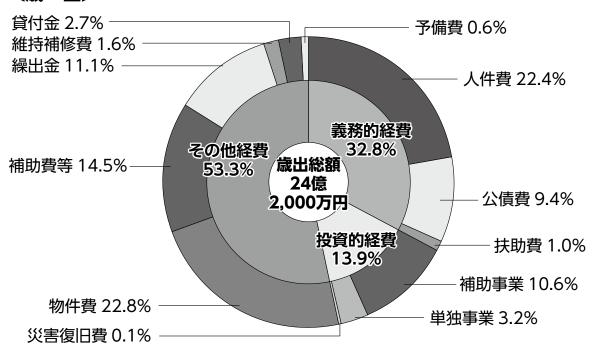
歳出は、義務的経費が予算総額の32.8%、投資的経費が13.9%を占めています。

〔歳 入〕



※その他とは、繰越金、財産収入、寄付金です。

(歳 出)



※投資的経費中の単独事業欄には、決算統計上の区分として県補助事業も含まれています。 ※予備費等とは、予備費、積立金、投資及び出資金です。

1 歳入内訳

歳入の区分	予 算 額	内容
交付金・譲与税	7,600 万円	国から交付されるお金で、地方消費税交付金、環境性能 割交付金などがあります。
地方交付税	9 億円	国が町へ交付する税をいいます。どの地域に住む住民に も一定の行政サービスを提供できるように、保障するお 金です。
国県支出金	2億7,298万円	国・県から町へ交付される負担金、補助金、交付金などをいいます。
地 方 債	1 億 6,678 万円	町の借金のことで、国や金融機関などから借りるお金です。
地 方 税	4億9,536万円	みなさんから納めていただいた町の税金とダムなどの税 金です。
使用料・手数料	2,355 万円	施設を利用するときや証明書を発行してもらうときなど に、支払っていただくお金です。
その他	3,532 万円	前年度からの繰越金、財産収入、寄附金等です。
繰 入 金	3 億 8,976 万円	町の貯金を取り崩すお金です。
諸 収 入	6,025 万円	学校給食納入金などのお金です。
歳入合計	24億2,000万円	

2 歳出内訳

苊	歳出の区分	<u>}</u>	予算額	内容
人	件	費	5 億 4,053 万円	職員の給料や議員の報酬などです。
公	債	費	2億2,789万円	国や金融機関から借りたお金の返済に充てるお金です。
扶	助	費	2,470 万円	児童手当や高齢者への給付費などです。
投	資 的 事	業	3 億 3,591 万円	建物などを建設するためのお金です。
物	件	費	5 億 5,149 万円	消耗品、光熱水費、業務委託料、郵送料、電話料、備品 購入費などです。
補	助費	等	3 億 5,083 万円	各種団体への補助金や交付金、謝礼などです。
繰	出	金	2億6,925万円	一般会計から特別会計などに支払うお金です。
維	持補修	費	3,844 万円	公共施設などを補修するためのお金です。
貸	付	金	6,525 万円	地域の振興を図るため、現金の貸付を行うお金です。
予	備費	等	1,571 万円	予想できない支払いが生じた時に充てるためのお金です。
	歳出合計		24 億 2,000 万円	

3 特別会計内訳

特別会計名	予 算 額	対前年比	増減の理由
国民健康保険特別会計(事業勘定)	1億8,150万円	1.4%	
国民健康保険特別会計(直診勘定)	1億1,480万円	9.1%	
簡 易 水 道 特 別 会 計	6,800万円	△ 70.4%	関浄水場配水池増設工事等の完成 により工事請負費が減少しました。
町営バス特別会計	5,150 万円	△ 6.7%	
下 水 道 特 別 会 計	1億2,920万円	6.7%	
介護保険特別会計	2億9,400万円	△ 3.5%	
介護サービス特別会計	1,800 万円	△ 21.7%	施設車庫増設工事等の完成により 事請負費が減少しました。
後期高齢者医療特別会計	2,430 万円	3.0%	
七ケ宿ダム自然休養公園特別会計	2,070 万円	4.5%	
特別会計合計	9億200万円	△ 15.0%	

4 町全体の家計

税を主な収入源とし、福祉や教育などの基本的な事業を行うための「一般会計」と使用料や、保険料などのその事業収入で歳出をまかない、一般会計と区分して経理するための「特別会計」を併せると・・・

一般会計 24億2,000万円

+

特別会計 9億 200万円

П

総予算額 33 億 2,200 万円

七ケ宿町の令和2年1月31日の人口は1,369人、645世帯です。

総予算額を人口で割ると……1人あたりの予算額は、約 243 万円 世帯数で割ると……1世帯あたりの予算額は、約 515 万円

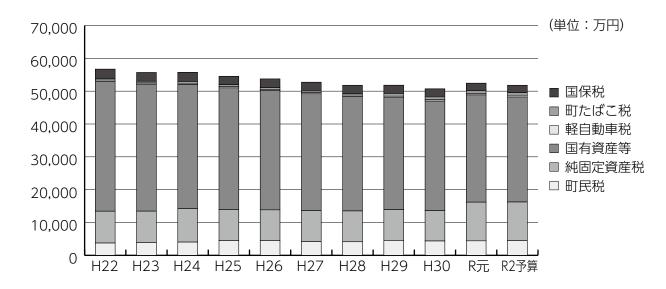
5 町税の状況

主な町税等の予算額と決算額の推移

(単位:万円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度見込	令和 2年度予算
町民税	3,747.4	3,922.1	4,035.5	4,521.7	4,533.7	4,180.6	4,138.5	4,562.3	4,372.1	4,421.4	4,520.3
純固定資産税	9,701.7	9,538.8	10,177.4	9,439.5	9,325.7	9,429.1	9,389.3	9,359.0	9,242.1	11,776.2	11,726.2
国有資産等	39,548.6	38,665.3	37,807.0	37,046.7	36,309.6	35,594.3	34,830.0	34,086.9	33,362.7	32,658.8	31,974.6
軽自動車税	364.7	360.5	372.3	368.3	364.8	370.8	430.9	449.3	459.0	443.3	532.0
町たばこ税	489.3	528.6	555.1	581.0	529.6	502.4	492.8	852.2	813.0	812.3	783.4
国保税	2,860.9	2,681.4	2,789.3	2,577.9	2,672.5	2,651.0	2,514.6	2,506.8	2,462.0	2,319.9	2,257.1
計	56,712.6	55,696.7	55,736.6	54,535.1	53,735.9	52,728.2	51,796.1	51,816.5	50,710.9	52,431.9	51,793.6

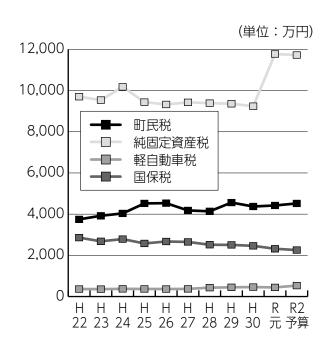
予算額と決算額の推移



町普通税の構成割合

町たばこ税 1.5% 軽自動車税 1.0% 町民税 8.7% 純固定資産税 22.6% 国有資産等 61.7%

四税の推移



※町民の皆様から納めていただく町税は、住民福祉や生活基盤整備の大切な資金として活用されています。納期内納税にご協力をお願いします。

6 地方交付税の状況

地方交付税の推移

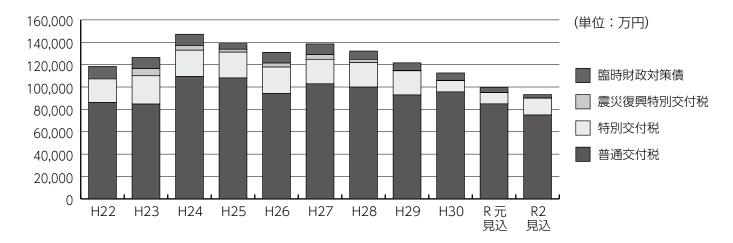
令和元年度の普通交付税については、補正係数・単位費用の改正等により、基準財政需用額が減少し、前年度より減額となりました。

令和2年度の地方財政対策においては、地方交付税の総額で約4,073億円、前年度比2.5%の増額となる一方、臨時財政対策債は約1,171億円の減額となり前年度から大幅な抑制傾向となりました。

特別交付税については、台風 19 号などによる被害等の災害復旧事業に重点的に配分されるため、大幅な増額は見込めない状況にあります。

(単位:万円)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度見込	令和 2 年度見込
普通交付税	86,175	84,779	109,425	108,179	94,223	102,877	99,921	92,921	85,799	84,971	75,000
特別交付税	21,066	25,278	23,472	23,011	23,630	21,881	21,947	21,575	24,154	10,000	15,000
震災復興特別交付税		6,364	4,246	2,565	3,556	4,176	2,823	210	201	0	0
臨時財政対策債	11,157	10,000	10,000	5,000	9,570	9,620	7,450	6,930	6,382	4,822	3,200



地方債残高の推移

決算統計上における普通会計の地方債残高は、平成 9 年度の 30 億 8 千万円をピークに減少に 転じています。

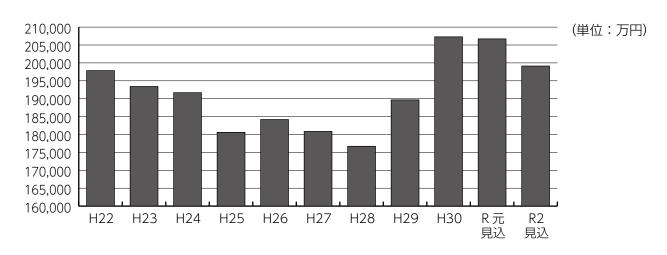
平成 28 年度末ではピーク時から約 13 億 1 千万円減少したものの、平成 29 年度からの積極的な投資事業実施により借入額が増加しています。今後は事業終了に合わせ、減少に転じていくことが見込まれます。

なお、平成30年度決算における実質公債費比率については5.1%となっており前年度より0.7ポイント増加しています。

また、地方交付税財源が不足した場合に発行される臨時財政対策債の算定方法の改正等により 大幅な抑制傾向にあります。償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されるため、実質的 には地方交付税の代替財源となっています。

(単位:万円)

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度見込	
世	力債残高	197,851	193,413	191,682	180,597	184,179	180,864	176,710	189,675	207,273	206,712	199,128



7 家計の状況 (財政状況)

町の財政を調べるのに、一般的に決算額から「財政指標」という全国統一の基準で求めた数値を用いますが、今回は30年度の決算の数値を元に家計に置き換え次の2つで財政を見てみます。

家計に置き換えると?								
ポイント①「貯金」	まちにも貯金があります。まちの貯金は「基金」と呼ばれています。 大きく3つに分類し管理しています。							
ポイント②「借金」	まちの借金は「地方債」と呼ばれています。 長い期間使う施設の建設や、一時的に高額な支払が必要となるとき借金 をしています。							

ポイント① 「貯金」・・・ 24 億 9,319 万円

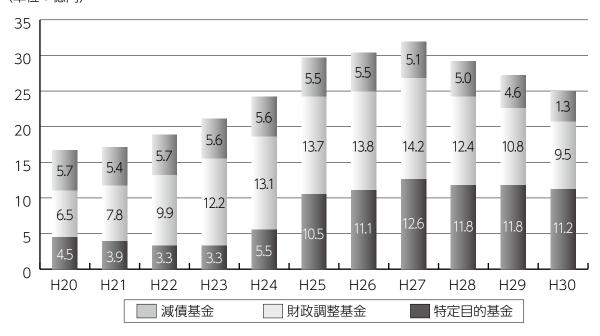
まちの基金は大きく次の種類に分けて管理しています。

◆ 特定目的基金 …… 特定の事業に使用する目的で積み立てている貯金

◆ 財政調整基金 …… 毎年度のやりくり用に積み立てている貯金

◆ 減債基金 ………… 借金返済に充てるために積み立てている貯金

1 貯 金 (単位:億円)



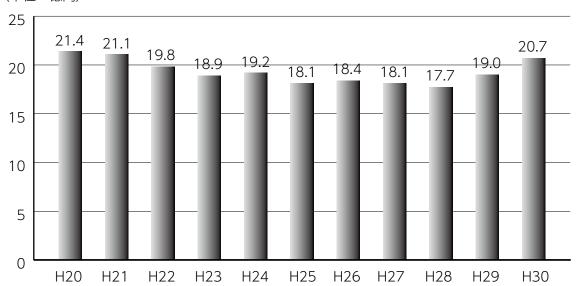
ポイント②「借金」・・・ 20億7,253万円

町が借金をするときは、基本的に建物など将来にわたって資産価値のあるものの経費に充てるときにしか借金はしてはいけないこととされています。

以前は「借金をして建て、将来世代にも負担してもらう」という考え方から、最近は「将来の 負担をできるだけ少なくする財政運営」が求められています。

借金は少ない方が財政的に望ましいことはもちろんですが、残念ながらこの額なら大丈夫という絶対的な基準はありません。

②借金 (単位:億円)



発 行:宮城県七ケ宿町

〒989-0592 宮城県刈田郡七ケ宿町字関126 TEL 0 2 2 4 - 3 7 - 2 1 1 1

E-mail: shichi21@poplar.ocn.ne.jp https://town.shichikashuku.miyagi.jp/

